

近畿日本鉄道株式会社御中

2025年4月25日

日本共産党 衆議院議員 辰巳孝太郎

日本共産党 元衆議院議員 清水ただし

日本共産党東大阪市会議員団

日本共産党八尾市会議員団

日本共産党柏原市会議員団

安全対策強化と利便性向上についての要望

御社におかれましては、住民生活に欠かせない公共交通機関として、日々ご尽力いただいていることに心から敬意を表します。

かねてから住民のみなさんから、日本共産党に対して駅のバリアフリー、踏切の危険、その他様々な不安、要望が寄せられております。また昨今は、一部無人駅が増大するなかで特に、安全性や利便性についての要望が増えています。

特に車いす利用者が、駅員不在となる時間帯に駅員のサポートを要する場合には、事前に連絡をすることになっていますが、事前連絡の手間に負担を感じたり、駅員が到着するまでの時間を要する場合もあります。そして、新石切駅の駅員への連絡用インターフォンの場所が、車いすでは利用しづらく、体格が小柄な方では手が届かないなど場合もあります。

障がい者にとっては、鉄道利用の制限を受けて自由に歩くことができず、「障害者差別解消法」に基づく合理的配慮をするどころか、障がい者にとってハンディキャップが拡大する状況になっています。

また恩智駅では、切符の自動販売機が故障して、切符を買えずに困っている乗客が多数いたこともありました。このように駅員がいたらすぐに対応してもらえることもできずに困ることも増えています。

従来から長い踏切（弥刀駅、高安駅、山本駅周辺など）では、遮断機が上がっている間に渡りることができず、踏切内に閉じ込められて怖い思いをする高齢者も少なくなく。老若男女問わず多くの市民が日常的に危険を感じています。過去には近鉄長瀬駅付近で車いすの方が脱輪し逃げ出せずに列車に衝突したり、一昨年は高安駅付近の踏切で自転車で転倒した方が自動車にひき逃げされ命を落とすなどの事故もたびたび起きています。踏切道の安全対策および高架を求める市民の声には強いものがあります。

以下要望しますので住民の声を真摯に受け止め、前向きに検討していただきますようお願いいたします。

一．駅無人化の解消について

▼無人化解消をはかってください。

最低上下のホームそれぞれに常時１人は駅員が常駐するようにしてください。

▼駅の無人化解消までの当面の対策について

視覚障がい者にとってもわかるように、音声や点字による無人化の告知や支援要請の案内をしてください。

少なくとも朝夕のラッシュ時には駅員を配置するようにしてください。

信貴山口駅など乗り継ぎ駅には早期に駅員を常時配置して下さい。

一．安全対策について

▼狭隘な枚岡、額田駅などから、ホーム柵やホームドアの設置を順次進めて下さい。

▼俊徳道～久宝寺口駅間、河内山本駅～恩智駅間の高架化を早急に進めて下さい

▼踏切での点字ブロックの設置をはじめとする安全対策強化を図って下さい。

一．誰もが利用しやすい駅舎・鉄道について

▼痴漢対策として女性専用車両を設けてください。

▼石切駅の下りホームにあったトイレが閉鎖され、上りホームにしかトイレがない状態になり不便となっています。下りホームにもトイレの再設置をしてください。

▼各駅のトイレに性自認に関係なく誰もが使えるトイレの設置を。

▼小柄な車いす利用者でも、駅員呼び出しのインターフォンや切符の券売機のパネルに指が届くよう改善を図って下さい。

▼生理用品を女性用トイレや誰もが使えるトイレに配備をして下さい。

▼多言語による駅の案内看板を増やして下さい。

以上